



ちんじゅうびょういん

珍獣病院

ちっぽけだけど同じ命

たむかいけんいち こうだんしゃ
田向健一作 講談社

「珍獣」とは、獣医師にとっては、あまり「診たことのない動物」のこと。この病院にやってくるのは犬猫だけでなく、鼻をすりむいたヤモリ、石を飲み込んだアマガエ、歩けなくなったフラビーなどの珍獣たちも多い。著者はさまざまな動物を飼った経験から、自分が開業したら、どんな動物でも診ようと決めたのだ。

もう少し動物のことを知ってほしい、きちんと飼えば病気になるのではないですむ動物もいるのだけれど…。そう願いながら、懸命に治療する珍獣病院の毎日をものぞいてみよう。

